

# 子ども会新聞

第222号

夏号

2024年10月1日

題字 山中 睦夫 氏

子どもの笑顔と  
生きる力を育てる

発行責任者：特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 四宮 淳司  
〒112-0012 東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル 4階  
TEL：03-3946-2340 FAX：03-3946-2341  
HP：https://www.kodomo-kai.or.jp/tokyo  
E-mail：tokoren@galaxy.ocn.ne.jp



## 安全啓発初級指導者養成講習会

6月15日（土）国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、9時30分より16時過ぎまで安全啓発初級指導者養成講習会を開催しました。講師に小金井市の小林正樹氏と江戸川区の葛西重敏氏、講評を齋藤武顧問にお願いしました。アクティブラーニングの導入により午前中から緊張感が解放され、活発な意見交換が交わされました。



昼食は三種から選べて、私はハッシュドビーフをいただきましたがとても美味しく満足できました。午後はKYT（危険予知トレーニング）を主体とした講習でしたが、多種多様な意見が続出し賑やかな講習会となり、時間が足りなくなる程で、最後の5分間KYTでは少しオーバーしました。

閉会式後に全員で認定書申請用紙に記入して散会となりました。コロナは収束していませんが、徐々に子ども会の活動も動き始めましたので、一人でも多くの育成者の方々に安全啓発の普及を広めたく思います。安全推進部 稲垣康充記

## 子ども会安全啓発の必要性

私たち児童・生徒の育成者は、実施するスポーツ競技・キャンプ・バスハイクなど様々な事業を企画し運営しています。しかしながら果たして私たち全てのスタッフは、常に児童・生徒の安全を確保できているのでしょうか。都子連では、6月15日、国立オリンピック記念青少年総合センターで子ども会安全啓発初級指導者養成講習会を20名の参加により行いました。

ここでは子ども会が活動中の事故をいかに未然に防ぎ、安全を確保するための安全教育や子ども会への指導技術を向上させる講義やグループ討議が行われました。

育成者が運営する事業は、参加する児童・生徒はもちろん、スタッフも無事故で無事に終わることができて目的を遂げ成果を上げたと言えるでしょう。そのためには、KYTを私たち育成者には欠かせない研修と考えています。理事長 四宮淳司記

## キャンプ特集



### 足立区

#### ジュニアリーダー研修会キャンプ in 御殿場



8月10～12日の日程で、静岡県御殿場市にある国立中央青少年交流の家へキャンプに行きました。ジュニアリーダー研修会を受講した、小学6年生71名、中学生37名、中高生リーダー、大学、社会人リーダー、少連協スタッフ、看護師、足立区青少年課職員、合わせて59名、総勢167名の大所帯でした。

キャンププログラムはテント設営、かまどで火起こしと食事作り、牛乳パックを使ったカートンドッグ作り、自衛隊滝ヶ原駐屯地への見学、非常食(ヒートパック)を食べる。フィールドゲーム、

クラフト作り、キャンプファイヤーなどでした。

3日間、天候にも恵まれました。参加した研修生の子どもたちも、最初はおとなしかったですが、一緒に行動するなかで協力し合い、普段の生活では体験できない、貴重な時間を過ごすことができましたと思います。指導してくれたリーダーたちのように、将来はリーダーとして参加してくれることを願っています。

足立区 大関記

### 葛飾区少年キャンプ



葛飾区では、8月17日(土)～19日(月)まで福島県の国立那須甲子青少年自然の家でかつしか少年キャンプを行いました。葛飾区ジュニアリーダークラブのクラブ員がリーダーとなり、葛飾区内の小学4～6年生とリーダー合わせて100人ほどで那須甲子に行きました。

葛飾から那須甲子まではバスで4～5時間。リーダーによるバスレクで那須甲子に向かいます。

1日目には、脱出ゲームと称した館内OLやキャンプファイヤーを行いました。はじめましての班で緊張していた様子も見られましたが、班で協力し

て宝を見つけたり、一緒に火を囲んで歌い踊ったりする中で、リーダーとも子ども同士でも仲良くなっている様子が見られました。

2日目には、自然のもので巨大工作やカレー作り、水鉄砲を使ったお楽しみレク、捕らわれたリーダーを探し出すナイトハイクを行いました。羽釜でごはんを炊いたり、夜の森をみんなで歩いたり、那須甲子でしかできないことをたくさん経験しました。3日目には、白河だるまの絵付けを行い、葛飾に帰ってきました。たくさんの楽しかった思い出を思い出して、また秋や来年のキャンプに参加してほしいと思っています。

葛飾区 山口記

## 小金井市 サマーキャンプ



小金井ジュニアリーダーズクラブは、桧原山荘を利用して8月3～4日の1泊2日でサマーキャンプを実施しました。

天気にも恵まれ、桧原山荘ならではの活動を存分に楽しむことができました。

山荘の下には川が流れています。水の冷たさもそこそこでとても綺麗な水が流れ、しかも水量は水遊びにちょうどいい状況でした。暑い夏、いくらでも入っていれるような川遊び、子供たちはすごく楽しんでいました。



続いて、かまどを利用した飯盒炊きです。定番のカレーをみんなで作りました。材料は、前述の川遊びの際に食材を流してゲットしているので、班によって少し違う材料となっています。ジュニアリーダーも子供たちも慣れた手つきで火をつけ、ご飯を炊き、カレーを煮込みました。自分たちの班のカレーだけではなく、隣の班のカレーも満遍なく楽しみ、大満足の夕食でした。夜はキャンプファイヤーです。平らな場所があるのでしっかりと井桁を組み、堂々としたファイヤーを実施しました。

ジュニアリーダーのレクやレクダンを楽しみ、あっという間に就寝時間です。みんな疲れたのか、雑魚寝ではありますがぐっすりと眠れたようです。翌日の朝食はピザ、昼食は流しソーメンです。ソーメンの竹は前日に切り出したものを使用しました。新鮮な竹の香りと水の流れる音に風流を感じ、美味しいソーメンを食べることができました。あっという間の1泊2日ですが、子どもたちも大満足に過ごしてくれたものと思います。

小金井市 加辺記

## 江戸川区子連キャンプ



今年度もジュニアリーダー初級講習会を区内8会場で実施した。講習会の目玉は何といってもキャンプだ。講習生は総勢160名。A・B二回に分かれて御殿場の国立中央青少年交流の家での2泊3日。そのうち8月23日からのBキャンプでの出来事。

2日目の夜は待ちに待ったメインイベントのキャンプファイヤー。スタッフによるピットの準備も万全、しかし天気予報では雲行きが怪しいとのことで急遽予定を入れ替え30分繰り上げが決まる。いつ雨が落ちてきても大丈夫なように子ども

たちはカップで武装し、さあこれからというときに突然、バケツを何百杯もひっくり返したような豪雨！豪雨！豪雨！しばらくは止まぬ気配に、プログラム担当と連合会長の機転で、急遽屋根のある野外炊事場でやってみようということに。この判断が功を奏し、野外のキャンプファイヤーとほぼ同じ内容で楽しく行うことができた。子どもたちにはより強く思い出に残る講習となったと思う。

江戸川区 原田記

**令和5・6年度 東京都子ども会連合会 副理事長の紹介をします。**

都子連では、副理事が6名で各部担当をしております。

今回号で、3名紹介、次回号で3名を紹介します。宜しく願いいたします。

**加辺副理事長**

昨年の総会で事業部担当の副理事長に就任しました、小金井市の加辺です。まだ自分の子供が中学生と小学生であり、現役の保護者でもあります。現在は、小金井市子供会育成連合会の会長として活動をしており、ミステリートレインなど、小金井市の子供会活動に力を入れています。小金井市も子供会会員が減少しております。そのような状況でも、継続していただける子供会活動を目指しております。引き続きよろしく申し上げます。

**葛西副理事長**

令和5年に都子連副理事長に就任した葛西重敏です。私は江戸川区子ども会連合会（副会長職）所属で、東京生まれの江戸川区民です。江戸川区での子ども会活動に平成10年から関わり始め、その後地元で青少年健全育成活動や町会活動など様々な地域貢献活動にも関わり早26年経ちました。子ども会活動通じていつも感じていることは、子ども達の成長に眼前で関わっていることが私自身の新たな気づきになっているということであり、私自身の成長・喜びになっているということです。このきっかけを与えてくれた今は亡き当時地元子ども会S会長には日々感謝しています。ただ一方で、新たな後継者を輩出育成することが今一番の課題です。そんな私ですが、都子連では事業部担当として11月の育成研を計画している古来稀なる午年の私です。

**稲垣副理事長**

墨田区少年団体連合会副会長の稲垣康充です。宜しく願いいたします。昨年の葛飾区での安全啓発初級講習会では、直前でコロナに感染しお手伝いできませんでした。今年のオリンピックセンターでの初級講習会でも、多数の方に参加頂き本当にありがとうございました。話に依りますと、東京都の上級指導者は数名しかおらず、中級指導者も多くはないそうです。都子連として中級指導者講習会を開催しておらず、関東ブロックでの開催でしたので参加者が少なかった様です。昨年、今年と多くの初級認定者がおりますので、都子連独自で安全啓発中級講習会が出きればと思っておりますので、今後ともご協力下さる様宜しく願いいたします

**編集後記**

今年は例年がない、猛暑の中、地域での活発な子ども会活動をされていた様子の報告がありました。今後も、皆さまの御活躍の情報をお待ちしております。 広報部